

令和3年度 事業報告書



新たなつながりと支え合いが育む
ふだんの 暮らしの しあわせ

社会福祉法人飯能市社会福祉協議会

目次

1. 法人運営部門	3
(1) 会務の運営	4
(2) 人材育成	6
(3) 財務	7
(4) 職場の福利厚生	7
(5) 第3次発展・強化計画への取組み及び進捗管理	8
(6) その他の事業	8
2. 地域福祉推進部門	10
(1) はんのうふくしの森プラン推進事業	11
(2) コミュニティソーシャルワーク事業	13
(3) 小地域福祉活動推進事業	15
(4) 生活支援体制整備事業（飯能市受託事業）	16
(5) 福祉教育推進事業	17
(6) ボランティアセンター運営事業	18
(7) 外出支援（移送サービス）事業	20
(8) たすけあいサービス事業	20
(9) 歳末たすけあい義援金配分事業	21
(10) 経済的支援事業	21
(11) 権利擁護事業	22
(12) 基幹型地域包括支援センター事業（飯能市受託事業）	24
(13) 居宅介護支援事業（指定居宅介護支援事業所 けあ・しゃきょう）	25
(14) 広報啓発事業	27
3. 指定管理部門	28
(1) 総合福祉センター（飯能市受託事業）	29
(2) 身体障害者福祉センター事業（飯能市受託事業）	30
(3) 老人福祉センター事業（飯能市受託事業）	30
(4) 児童センター事業（飯能市受託事業）	30
(5) 美杉台児童館（飯能市受託事業）	30
(6) 共催事業	31
(7) その他の取組	31

本文中の表記について

- 各事業は令和3年4月1日から令和4年3月31日の間に実施した事業となりますので、開催年の表記は省略しました。
- 全ての実績は令和4年3月31日現在です。

1. 法人運宮部門

(1) 会務の運営

① 役員会等の開催

(ア) 理事会の開催 開催回数：7回、うち書面決議1回、オンライン併用2回

開催日	議案等
5月25日(火) 出席理事 10人 出席監事 1人	(報告) 1. 令和2年度監事監査の結果について (議事) 1. 令和2年度事業報告の承認について 2. 令和2年度決算の承認について 3. 令和3年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分総合福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 4. 令和3年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分身体障害者福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 5. 令和3年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分老人福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 6. 令和3年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分児童センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 7. 令和3年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分美杉台児童館受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 8. 令和3年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分法人運営事業サービス区分補正収支予算(第1次) 9. 評議員選任候補者の推薦について 10. 評議員選任・解任委員会の招集について 11. 評議員会の招集について
6月11日(金) 出席理事 11人 出席監事 1人	(議事) 1. 定款第18条第2項に定める役員の選定について 2. 評議員選任・解任委員の選任について (報告) 1. 評議員選任・解任委員会の審議結果について
8月11日(水) 出席理事 9人 出席監事 2人	(議事) 1. 評議員会の招集について
8月11日(水) 出席理事 9人 出席監事 2人	(報告) 1. 理事の選任について (議事) 1. 定款第18条第2項に定める役員の選定について
【書面決議】 提案日 9月13日(月)	(議事) 1. 非常勤職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案) (報告) 1. 定款第21条第5項に基づく会長及び常務理事の業務執行状況について 《決議》 全ての理事から「理事会決議事項についての同意書」を、また全ての監事から「理事会決議事項についての確認書」の提出を受けた。
【オンライン併用】 11月30日(火) 出席理事	(議事) 1. 令和3年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分生活福祉資金貸付事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案)

・会場参集 6人 ・オンライン参加 4人 出席監事 ・オンライン参加 1人	2. 令和3年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分法人運営事業サービス区分補正収支予算（第2次）（案） 3. 令和3年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分総合福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算（第2次）（案） 4. 令和3年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分美杉台児童館受託経営事業サービス区分補正収支予算（第2次）（案） 5. 令和3年度公益事業区分相談支援事業拠点区分居宅介護支援事業サービス区分補正収支予算（第1次）（案） 6. 評議員会の招集について （報告） 1. 第3次発展・強化計画の推進状況について 2. 地域活動の推進状況について 3. 総合福祉センターにおける新型コロナウイルスワクチン接種終了後の施設利用について 4. 令和4年4月1日付常勤職員採用について
【オンライン併用】 3月22日（火） 出席理事 ・会場参集 6人 ・オンライン参加 3人 出席監事 ・オンライン参加 3人	（議事） 1. 職員就業規則の全部を改正する規則（案） 2. 非常勤職員就業規則の全部を改正する規則（案） 3. 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程（案） 4. 令和4年度事業計画（案） 5. 令和4年度資金収支予算（案） 6. 評議員会の決議の省略について 7. 会長の利益相反等に係る取引事項について 8. 評議員選任候補者の推薦について 9. 評議員選任・解任委員会の招集について （報告） 1. 定款第21条第5項に基づく会長及び常務理事の職務執行状況について 2. 社会福祉法第56条第1項による社会福祉法人指導監査（実地監査）の結果について 3. 令和2年度共同募金配分事業に対する監査の結果について

・10月13日付、理事・監事に理事会をオンライン併用開催することについての意見聴取を書面にて実施。

（イ）監事会の開催 開催回数：1回

開催日	議案等
5月17日（月） 出席監事 3人	1. 令和2年度業務監査並びに財務監査

（ウ）評議員会の開催 開催回数：4回、うち書面決議1回

開催日	議案等
6月10日（木） 出席評議員 14人 出席監事 1人	（報告） 1. 令和2年度監事監査の結果について （議事） 1. 令和2年度事業報告の承認について 2. 令和2年度決算の承認について 3. 令和3年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分総合福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算（第1次）（案）

	4. 令和３年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分身体障害者福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算（第１次）（案） 5. 令和３年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分老人福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算（第１次）（案） 6. 令和３年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分児童センター受託経営事業サービス区分補正収支予算（第１次）（案） 7. 令和３年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分美杉台児童館受託経営事業サービス区分補正収支予算（第１次）（案） 8. 令和３年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分法人運営事業サービス区分補正収支予算（第１次）（案） 9. 理事の選任について 10. 監事の選任について
8月11日（水） 出席評議員 16 人	（議事） 1. 理事の選任について
12月15日（水） 出席評議員 15 人	（議事） 1. 令和３年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分生活福祉資金貸付事業サービス区分補正収支予算（第１次）（案） 2. 令和３年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分法人運営事業サービス区分補正収支予算（第２次）（案） 3. 令和３年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分総合福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算（第２次）（案） 4. 令和３年度社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分美杉台児童館受託経営事業サービス区分補正収支予算（第２次）（案） 5. 令和３年度公益事業区分相談支援事業拠点区分居宅介護支援事業サービス区分補正収支予算（第１次）（案） （報告） 1. 第３次発展・強化計画の推進状況について 2. 地域活動の推進状況について 3. 総合福祉センターにおける新型コロナウイルスワクチン接種終了後の施設利用について
【書面決議】 提案日 3月22日（火）	（議事） 1. 令和４年度事業計画（案） 2. 令和４年度資金収支予算（案） 《決議》 全ての評議員から「評議員会決議事項についての同意書」の提出を受けた。

・ 2月21日付、評議員に評議員会をオンライン併用開催とすることについての意見聴取を書面にて実施。

（エ）評議員選任・解任委員会の開催 開催回数：2回 うちオンライン併用1回

開催日	議案等
5月28日（金）	1. 評議員の選任について（任期満了に伴う一斉改選）
3月22日（火）	1. 評議員の選任について（1人について）

（２）人材育成

① 職員の資質向上のための仕組みの構築

（ア）職場研修推進会議の実施 5回

・「個人研修計画・評価シート」に沿ったＯＪＴ（職務を通じた研修）の推進
及びＯＦＦ－ＪＴ（職務を離れた研修）受講を支援した。 8回

（イ）職員の資格取得支援の実施（補助金交付） 該当者なし

② 職場研修の充実

（ア）全体研修の開催 不実施

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

（イ）職員の自己啓発活動の支援（補助金交付等）

自己啓発活動の支援	主査級昇任試験に向けた勉強会実施のための施設利用認定 1 件
-----------	--------------------------------

③ 専門職を目指す人材の育成

（ア）社会福祉現場実習の受入

実習項目	受入校・人数
社会福祉援助技術現場実習（社会福祉士養成）	早稲田大学 1 人 日本福祉教育専門学校 1 人

（イ）その他

実習項目	受入校・人数
理学療法専攻見学実習	日本医療科学大学 85 人

（３）財務

① 財源確保

（ア）地域福祉基金の運用

（イ）有料広告事業者の募集 協力事業者なし

② 会費制度への理解促進と会員の増強

（ア）一般会員（対象：一般世帯）

（イ）特別会員・団体会員（対象：個人、事業者等）

・特別会員制度の在り方についての検討の実施 不実施

会員種別	会費（年額）	納入額
一般会員	1 世帯 200 円以上	4,900,600 円
特別会員（対象：個人、事業者等）	1,000 円以上	1,026,000 円
団体会員（対象：個人、事業者等）	15,000 円以上	45,000 円
合計金額	—	5,971,600 円

（４）職員の福利厚生

① 職員の健康管理

（ア）衛生委員会の開催

実施方法	衛生委員から産業医に対してファクスによる質疑応答方式 またその結果は職員に周知
内 容	1. 悩んでいる人も多い「腰痛」 2. 睡眠が及ぼす作業効率への影響 3. 職場でできる健康教育「肩こり」 4. 梅雨の時期の過ごし方

	5. 脳血管疾患のリスク 6. 高血圧 7. 職場巡視チェックリスト 8. 若者も注意したい腎機能の低下 9. 職員健康診断について 10. ストレスチェックについて 11. 女性職員への健康課題について
--	--

・作成した職場巡視チェックリストによる産業医職場巡視の実施 1回

(イ) 職員健康診断及びストレスチェック制度の実施

・職員健康診断及び人間ドック

対象者数	58 人	
職員健康診断	実施日	10月1日（金）～22日（金）
	受検者数	51 人
人間ドック	受検者数	7 人
	人間ドック受検費用補助金支給要領による補助金額 10,120 円×6 人 9,460 円×1 人 合計 70,180 円	

・ ストレスチェック

実施日	10月1日（金）～22日（金）
対象者数	40人
受検者数	37人

(ウ) からだとこころの健康相談室の実施 不実施

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

(エ) 職員対象健康講座の開催 不実施

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

(5) 第3次発展・強化計画への取組み及び進捗管理【重点事業】

《 資料編 1 ページ～2 ページ 表一法人① 参照 》

(6) その他の事業

① 法外援護事業

(ア) 火災見舞金の支給 1 件 20,000 円

(イ) その他の法外援護 なし

② 団体事務

(ア) 飯能市老人クラブ連合会

(イ) 飯能市身体障害者福祉会

- ・ 上記 2 団体の事務局業務を実施した。

③ 補助金の交付

(ア) 地域福祉活動等推進事業補助金

補助金交付先	補助金額
川寺グランドゴルフ愛好会	15,130 円
飯能市朗読ボランティアひびき	50,000 円
合計金額	65,130 円

(イ) 社会福祉団体補助金

補助金交付先	補助金額
飯能市民生委員児童委員協議会	850,000 円
飯能市母子愛育会	80,000 円
所沢人権擁護委員協議会飯能部会	50,000 円
合計金額	980,000 円

2. 地域福祉部門

(1) はんのうふくしの森プラン推進事業【重点事業】

① はんのうふくしの森プランの進行管理（飯能市と一体的管理）

（ア）地域福祉活動計画推進委員会の開催（飯能市と合同開催） 開催回数：1回
推進委員 14人（学識経験者、知識経験者で構成）

開催日	議 案 等
9月1日(水)	1. 第3次はんのうふくしの森プランの令和2年度実績報告について 2. 第3次はんのうふくしの森プランの令和3年度実施計画（案）について

・プランに対する中間意識調査（アンケート）の実施

[市民向け意識調査]

調 査 対 象：18才以上の一般市民

調査票配布数：1,000

回答数：382（郵便：286，ネット：96 回答率：38.2%）

[児童・生徒向け]

調 査 対 象：飯能市立小・中学校に在学している小学5年生及び中学2年生

調査票配布数：1,207

回答数：1,071（回答率：88.7%）

回 答 方 法：児童・生徒に配布されているタブレットを活用し、オンラインにより回答を受けた。

※ 回答者の6人に1人が「安心できる居場所がない」と回答

（イ）はんのうふくしの森プラン推進市民会議の運営 開催回数：5回

実施日	出席者数	議 題
6月1日(火)	13人	1. 自己紹介 2. “学びの場”について
8月25日(水)	12人	1. 令和3年度はんのうふくしの森プラン推進市民会議の開催スケジュールについて 2. 第1回“学びの場”開催内容について 3. 今後のはんのうふくしの森プラン推進市民会議の展開について
10月22日(金)	16人	1. 第1回“学びの場”調整状況の報告について 2. 第2回“学びの場”実施に向けた検討について
12月22日(水)	15人	1. 第1回“学びの場”の振り返り及び“学びの場”の在り方について 2. 令和4年度はんのうふくしの森プラン推進市民会議及び“学びの場”の開催スケジュールについて
3月23日(水)	21人	1. えんがわサロン松原（加治東地区）の立ち上げ及び開催報告について 2. 第2回“学びの場”調整状況の報告について 3. “学びの場”の開催に向けた検討について 4. 令和4年度市民会議の開催日程について

・第1回はんのうふくしの森プラン推進市民会議“学びの場”の実施

実施日	内 容
12月7日(火)	テ ー マ：ふれあいいきいきサロンはここからはじまった 内 容：県外の活動実践者から「地域の支え合いの仕組み」づくりに込める想いや、市民参加で取り組んでいく意義について講演 参加対象：市民会議参加者、ふくしの森サポーター（リーダー） 方 法：オンライン会議 参加者数：32人 同講演を契機に加治東地区にて常設型の地域の居場所「えんがわサロン松原」に立ち上げ

(ウ) 飯能市地域福祉活動計画プロジェクトチームの開催 不実施

(エ) 飯能市との定期的な協議の場の設置【新規】 開催回数：19回

② はんのうふくしの森プランに基づく事業の推進

(ア) ふくしの森サポーターの養成及び普及

・はんのうふくしの森みらいカレッジ（ふくしの森リーダー養成研修）の実施

実施日	内 容
11月13日(土) 21日(日)	内 容：1日目 「はんのうふくしの森プランとこれからの地域福祉」講演及び地域福祉活動実践者との交流 「市内の専門相談機関との交流&地域デザイン」 相談支援機関等を交えたワークショップ 2日目 「みんなが主役の会議って？」 ファシリテーションに関する研修 参加対象：地域の活動に取り組んでいるもしくは取り組んでいきたい人 活動団体を立ち上げ、新たに活動を始めたいと考えている人 会 場：総合福祉センター 参加者数：12人 8人が修了し、うち6人がふくしの森リーダーとして登録

・SNSによるふくしの森サポーター向けの情報発信

LINE公式アカウントにて4回にわたり情報を発信した。

(イ) はんのうふくしの森プランの周知

- ・地域の交流拠点や生活支援、移動支援の取組、身近な相談窓口をマップ化した「ふくしの森マップ」、地域活動のスケジュールを掲載した「ふくしの森カレンダー」等を掲載した「はんのうふくしの森プランポータルサイト」を運営した。

(ウ) 地域における公益的な取組みの推進

・社会福祉法人地域公益活動等連絡会の設立及び運営の支援

実施日	内 容	出席者数
7月1日(木)	1. 設立総会 2. 記念講演	33人
8月4日(水)	第1回幹事会 1. 幹事長、副幹事長の選任について 2. 今後の活動について	15人
9月8日(水)	連携分科会 1. 副幹事長の選任について 2. 今年度の取組事業について	4人

9月27日（月）	公益分科会 1. 今年度の取組事業について	7人
11月4日（木）	第2回幹事会 1. 今年度の活動について	16人
2月3日（木）	第3回幹事会 1. あったか♡バンク飯能進捗連絡及び最終調整 2. 福祉教育実施報告 3. 次年度の事業内容について	12人
3月6日（日）	あったか♡バンク飯能事業の実施 ・30世帯に食糧・生活用品・学用品等を無償配布	16人
3月9日（水）	第4回幹事会 1. 令和3年度事業報告について 2. 令和3年度収入支出決算について 3. 令和4年度事業計画（案）について 4. 令和4年度事業収支予算（案）について	12人

（エ）圏域ごとの計画づくり

・職員勉強会の実施【新規】

岡山県内社協の先進地社協との意見交換会の実施にむけ調整を行った。

・住民向け講演会の実施【新規】 不実施

（2）コミュニティソーシャルワーク事業

① コミュニティソーシャルワーク機能の強化

（ア）コミュニティソーシャルワーカーの充実

・コミュニティソーシャルワーカー（兼生活支援コーディネーター）活動状況

《資料編 3ページ～10ページ 表一地域①-（1）、①-（2） 参照》

・増員に向けた行政との協議の場の設置

所管課（地域・生活福祉課）との打合せ 1回

増員に向けたコミュニティソーシャルワーカーの実績まとめを提出した。

常勤職員1名増員を予算化し採用試験を実施したが、採用に至らなかった。

・重層的支援体制整備事業についての勉強会の実施 不実施

・飯能市が開催した市町村総合支援体制整備に関する研修会へ出席

3月23日（水） 午前10時～11時30分 出席者：6名

・コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（地域福祉研究所主催 STEP1、STEP2）の受講

[コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修 STEP1]

開催日：11月13日（土）、14日（日）

参加者数：3人

（イ）ふくしの森ステーションの機能強化

・ふくしの森ステーションの体制整備及び機能の充実

「コミュニティソーシャルワーク事業実施要綱」を設置し、ふくしの森ステーションの機能の明確化を図った。

・車いす“ちょい貸し”事業の実施 貸出件数：9件

(ウ) コミュニティソーシャルワーカー及びふくしの森ステーションの周知

地区別広報紙名	発行実績
ふくしの森ステーションなぐりだより	・年 12 回・約 900 部/回（全戸配布）
ふくしの森ステーションかじだより	・年 6 回・約 600 部/回（回覧）
ふくしの森ステーションみすぎだより	・年 6 回・約 680 部/回（回覧）
ふくしの森ステーションあがのだより	・年 6 回・約 850 部/回（全戸配布）
ふくしの森ステーションみなみこまだより	・年 6 回・約 900 部/回（全戸配布）
ふくしの森ステーションはらいちばだより	・年 6 回・約 300 部/回（回覧）
ふくしの森ステーションひがしあがのだより	・年 6 回・約 120 部/回（回覧）

(エ) 相談支援機関との連携強化

- ・地区別連携会議の開催 開催地区数：8 地区
- ・民生委員児童委員との連携強化
各地区民生委員児童委員協議会定例会に出席し、情報共有を図った
- ・地域ケア会議への参加（随時）

② 地域福祉推進組織の支援

(ア) 地域福祉推進組織の活動支援

- ・コミュニティソーシャルワーカーによる技術的支援

支援内容
・会議開催（総会、役員会等）の支援 ・新規活動の立ち上げ支援 ・イベント、研修会等開催の支援 ・補助金申請等各種諸手続きに係る支援 ・事務局業務等に係る支援 ・関係機関等との連絡調整 ・その他通常活動への参加

- ・補助金の交付による財政的支援

【ふくしの地域づくり事業補助金の交付】

地域福祉推進組織名	①	②	③	④	総額
原市場地区社会福祉協議会	101, 000	50, 000	4, 504	0	155, 504
なぐり広場	50, 000	50, 000	125, 904	0	225, 904
加治東ふれあい広場	70, 000	50, 000	300, 000	0	420, 000
たすけあいあがの	50, 000	50, 000	400, 000	0	500, 000
ふくしの森・東吾野	50, 000	50, 000	104, 250	0	204, 250
ささえあい南高麗	50, 000	50, 000	80, 000	0	180, 000
あさひやまライフネット	126, 000	50, 000	300, 000	0	476, 000
合 計	497, 000	350, 000	1, 314, 658	0	2, 161, 658

※①一般会費還元補助 ②赤い羽根共同募金定額補助 ③はんのうふくしの森プラン推進活動費 ④食事サービス活動費補助

【車両の貸出】

地域福祉推進組織名	内 容
なぐり広場	・サロン活動等への送迎の取組に対するワゴン車 1 台の貸出
たすけあいあがの	・移動交通への取組に対するワゴン車 1 台の貸与
ふくしの森・東吾野	・移動販売事業に対するトラック 1 台の貸出

- ・組織運営、事業実施、組織設立等に必要な情報提供

(イ) 地域福祉推進組織交流会の開催

開催日	内 容 等
9月16日(木)	テ ー マ：お互いを知ろう！情報を交換しよう！ ～with コロナを見据えて～ 方 法：オンライン会議 内 容：地域福祉推進組織代表者7人による情報交換 参加者数：地域福祉推進組織代表者7人、社協職員9人、市職員2人

(3) 小地域福祉活動推進事業

① 静かな見守り活動の推進

(ア) 静かな見守り活動の実施（各地区民生委員児童委員協議会共催）

- ・静かな見守り活動の推進方法の見直し

見守り協力員に対し、上期と下期に事業啓発用資材を配布（上期 338 個・下期 352 個）した。

《資料編 11 ページ 表一地域② 参照》

- ・見守りカードの作成及び共有 11 地区・543 件

- ・静かな見守り活動事業補助金の交付

補助金交付先 1 地区民生委員児童委員協議会

補助金交付額（合計） 8,000 円

② 地域の居場所づくりの推進

(ア) ふれあいいきいきサロンの支援

《資料編 12 ページ 表一地域③ 参照》

実施団体種別	実施団体数	合計実施回数	参加者数（延）
高齢者対象サロン	6 団体	47 回	556 人
親子・子ども対象サロン	2 団体	82 回	448 人
その他のサロン	3 団体	48 回	401 人
合 計	11 団体	177 回	1,405 人
実施団体への事業費交付	6 団体		159,000 円

※ 地域福祉推進組織主催のふれあいいきいきサロンは含めない。

- ・コミュニティソーシャルワーカーによるサロン実施に対する技術的支援
- ・サロン運営等に必要な情報提供

(イ) 地域型ふれあい食事会の支援 不実施

（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）

③ 生活支援活動の推進【新規】

(ア) 移動販売事業の実施（セブン-イレブン日高下川崎店共催・新規）

実施回数	各コースとも月2回		
実施コース	実施回数	実施場所	延べ利用者数
精明・中山コース	24 回	宮沢、芦荻場、平松団地、小久保、双柳、中山、宮沢	666 人
原市場・名栗コース	24 回	上名栗、西赤沢、原市場、中藤中郷、東赤沢、妻沢	1,143 人

中藤・中沢コース (※自由の森学園下含む)	23 回	小岩井、中藤下郷、 中藤中郷、中藤上郷、南	617 人
岩沢コース	13 回	岩沢	556 人
吾野(南川)コース	23 回	南川	649 人
吾野コース	23 回	吾野、北川	628 人
合 計	130 回		4, 259 人

(イ) 食材のおすそわけ会の開催(生活クラブ生協飯能支部共催)

目的	生活クラブ生協の「みんな食堂」が実施できない間、生活にお困りの世帯の支援及びフードロス対策として実施。
実施回数及び利用世帯	12 回実施し、利用世帯は延べ 372 世帯
その他	ホンダカーズ埼玉飯能店から食材提供 12 回

(4) 生活支援体制整備事業(飯能市受託事業)

① 第 1 層における取組

(ア) 第 1 層協議体の開催(会場:総合福祉センター) 開催回数: 6 回

開催日	内 容 等
4 月 22 日(木)	・各地区第 2 層協議体の進捗状況について ・意見交換 「第 8 期介護保険事業計画及び老人福祉計画を踏まえて、第 1 層協議体で何ができるか？」 「第 1 層協議体と第 2 層協議体の繋がりについて」
6 月 24 日(木)	・各地区第 2 層協議体の進捗状況について ・グループワーク 「安心して居場所づくりを進めるために～ワクチン接種についての支援を考える～」
8 月 26 日(木)	・各地区第 2 層協議体の進捗状況について ・グループワーク 「成年後見制度の利用促進のための課題とその解決策について」
10 月 28 日(木)	・各地区第 2 層協議体の進捗状況について ・意見交換 「地域活動の状況について」
12 月 23 日(木)	・各地区第 2 層協議体の進捗状況について ・意見交換 「住民の支え合い活動(訪問系)で感じる悩みや不安は何だろう？」
2 月 24 日(木)	・各地区第 2 層協議体の進捗状況について ・意見交換 「住民主体活動が根付くために市全体で取り組む課題は何だろう？」

② 第 2 層における取組

(ア) 話し合いの場(第 2 層協議体)の設置及び開催(13 圏域)

- ・高齢者が安心して暮らせる地域づくりのための話し合いの場(第 2 層協議体)の開催や、学習の機会づくり及び地域支え合いの仕組みづくりを実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの地域において話し合いの場が実施できなかった。

- ・圏域ごとの地域福祉活動の実施状況

《資料編 13ページ～16ページ 表一地域④ 参照》

(イ) 地域支え合い活動の推進及び支援

- ・他市町活動者との交流の機会の設置

実施日	内 容 等
2月9日(水)	研 修 名：わくわく2市3町協議体合同研修会 共 催：飯能市社協、日高市社協、毛呂山町社協、鳩山町社協、越生町社協（協力：埼玉県社協） 目 的：普及しつつあるオンラインを活用した取組について学ぶとともに、近隣市町合同開催とすることで、相互の情報共有を通じて生活支援体制整備事業の推進を促していくこと。 方 法：オンライン会議 内 容：実践報告、意見交換 参加対象：第1層・第2層協議体委員、第1層・第2層生活支援コーディネーター、行政職員 参加者数：35人、うち本会職員6人 成 果：全8回の打合せの中で、コロナ禍における生活支援コーディネーターの活動を紹介する冊子を作成。

- ・有償生活支援活動の支援（情報交換の機会） 不実施
- ・移動販売の取組の推進（再掲）
- ・食事を通じた居場所づくりの支援（再掲）

③ 地域包括ケア支援システムの運用【新規】

(ア) 地域包括ケア支援システムの運用及び周知

委託契約先	カシオ計算機㈱
契約内容	本会が把握した社会資源のデータベース化
運用について	・本会、飯能市に加え、地域包括支援センターを対象とした説明会を開催の上、アカウントを付与した ・地域の居場所（ふれあいいきいきサロン、食事会、茶の間等）活動団体に対し掲載内容の確認を依頼、またボランティアセンター登録団体に対し、新規掲載を依頼した。

(5) 福祉教育推進事業

① 社会福祉協力校・ボランティア推進校指定事業

(ア) 社会福祉協力校・ボランティア推進校指定事業の実施

- ・福祉教育担当者説明会等の開催

開催日	内 容 等
7月8日(木)	【導入】疑似体験で終わらせない福祉教育の実践へ 【実践報告】福祉教育の実践事例～精明小4年生の場合～
説明会参加校	奥武蔵小学校、加治小学校、原市場小学校、精明小学校、双柳小学校、飯能第一小学校、富士見小学校、名栗小学校、加治中学校、原市場中学校、南高麗中学校、飯能西中学校

・ 限度額 30,000円/校の補助金の交付

社会福祉協力校 4校	ボランティア推進校 2校
富士見小学校、双柳小学校、 美杉台小学校、奥武蔵小学校	飯能西中学校、南高麗中学校
補助金交付額 119,328円	補助金交付額 28,420円

・ 学校における福祉教育実践の支援 8校

・ 小学生と高齢者の手紙による交流事業 2校

支援内容	件数
講演	16件
体験備品貸出	8件
体験指導	6件
ボランティア調整等	6件
サロン等への参加調整	3件
プログラム作成支援	5件
社会福祉法人の協力調整等	3件

(6) ボランティアセンター運営事業

① ボランティア・市民活動支援事業

(ア) ボランティアセンター運営委員会の開催 開催回数 1回

委員数	8人（学識経験者、ボランティア活動実践者、市民公募等）
開催日	議案等
10月26日（火）	1. 委員長および副委員長の選任について 2. 令和3年度飯能市ボランティアセンター運営方針について

(イ) ボランティア交流会の開催 不実施

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(ウ) ボランティア・しみん活動・ちいき情報「JOYJOY」の発行 発行回数 12回

(エ) ボランティアニーズの需給調整（マッチング）の実施

相談件数	ボランティアニーズ相談	6件
	ボランティア活動相談	20件
	その他の相談（電話のみの問合せ等）	11件
	合 計	37件

(オ) ボランティアスペースの運営及び内容の充実

設置目的	・ ボランティアに関する最新の情報の収集、発信 ・ ボランティアに興味のある方やボランティア活動者の交流の場 ・ これらを通じたボランティアの育成、活動の活性化
内 容	・ 情報誌の設置（月刊福祉、ふくしと教育、情報誌ネットワーク） ・ 防災パネル、視聴覚ライブラリの設置 ・ ボランティア活動紹介 来室者数 0人（コロナウイルスワクチン接種期間は閉鎖）

(カ) ボランティア・市民活動の支援

- ・ ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償送迎サービス補償、ふれあいサロン・社協行事傷害補償への加入手続きを行った。
- ・ ボランティア・しみん活動・ちいき情報「JOYJOY」、社協ホームページ、

ボランティアスペースにて補助金等の情報を提供した。

- ・埼玉県社協「令和３年度ひまわり基金助成事業」の申請を取りまとめた。
- ・公益財団法人大和証券福祉財団「2021 年度（第 28 回）ボランティア活動助成」の申請団体を推薦した。

② ボランティア育成事業

（ア）彩の国ボランティア体験プログラム 2021 の開催

《資料編 17 ページ 表ー地域⑤ 参照》

開催日	内 容 等
（夏） 7 月～8 月 （秋～冬） 11 月～1 月	目 的：埼玉県社協の実施要領に準じ、若年層へのボランティア活動のきっかけづくりや「体験」の機会を提供し、ボランティア活動への興味・関心を深め、様々な人との出会いや活動を通じて社会の一員としての意味を育み、地域で共に支え合う“福祉のまちづくり”につながる福祉意識の醸成と今後のボランティア活動につなげていただくこと。 後 援：飯能市、飯能市教育委員会 参加者数：36 人 メニュー数：10 メニュー 協力団体：15 団体

（イ）各種ボランティア講座の開催 不実施

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

（ウ）共学支援ボランティア講座への協力 不実施

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

③ 災害時に向けた取り組み

（ア）災害ボランティアセンター設置及び運営訓練の実施

開催日	内 容 等
3 月 27 日（日）	目 的：・災害時、職員が各々の役割を認識し災害ボランティアセンターの設置及び運営に関わることができるよう、実践的スキルやノウハウについて学び、判断力を養い、主体的に行動する意識を身に着けること。 ・有事の際ボランティアが災害ボランティアセンターの設置及び運営に関するためのスキルやノウハウについて学ぶ機会を提供すること。 ・現行の「飯能市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を改定すること。 内 容：・新型コロナウイルス感染防止に配慮した運営体制のシュミレーション ・ボランティア受付、ニーズ受付、マッチング、送り出しのシミュレーション ・マニュアル、レイアウト図面、帳票様式の見直し 会 場：総合福祉センター 参加者数：職員 19 人、ボランティア 8 人

(イ) 災害ボランティア登録制度の見直し

- ・通常のボランティア登録制度のひとつに災害分野が含まれていることから、平成26年11月21日施行「飯能市災害ボランティア登録要綱」を廃止し、現行のボランティア登録制度に組み込むこととした。

(ウ) 飯能市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定の締結

- ・令和3年4月1日付で、飯能市と上記協定を締結した。

(7) 外出支援（移送サービス）事業

① 福祉移送サービス事業の実施

- ・福祉車両の貸与及び車両運転士の派遣

利用登録者数				55 人
利用回数（延）				296 回
内 訳	きらめき号	トヨタレジアスエース	9 人乗り・車いす、ストレッチャー	124 回
	こじか号	エヴリィワゴン	4 人乗り・車いす	172 回
車両運転士派遣回数				120 回

(8) たすけあいサービス事業

① ヘアカットサービス事業の実施

（共催：飯能日高理容組合、飯能日高美容組合）

	利用登録者数	実施回数	協力店舗数
理 容	22 人	延 42 回	11 店舗
美 容	39 人	延 68 回	11 店舗

② ふれあい昼食会事業の開催

（共催：お楽しみ昼食会・1月12日の活動を最後に解散）

実施状況	実施回数	延利用者数
	1 回	18 人

（共催：社会福祉法人名栗園・ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂） 不実施

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

③ 友愛はがき事業の実施

ボランティア数	サービス利用者数	発行回数
1 人	1 人	2 回

④ 保育サービス事業の実施

（共催：一時保育ボランティアグループほっと❤️ほっと） 不実施

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

⑤ ひとり親家庭支援事業の実施

実施期間	内 容 等
新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、緊急事態宣言が発出されている中、県を跨いでの移動が困難な状況であったため、当初計画していた「ひとり親家庭日帰り旅行」を「ひとり親家庭支援事業」に変更し、下記の通り実施した。	
チケット配布期間 12月8日～21日 チケット利用期間 12月13日～28日	目的：クリスマスに時期に家族そろい自宅で楽しく過ごすこと 方法：市内個人経営の店舗で利用できるお買物券（金券）を希望世帯に配布。 ・協力店舗数 15 店 ・お買物券配布世帯 70 世帯 ・お買物券配布数 612 枚 ・お買物券発行金額 306,000 円 ・お買物券利用金額 300,500 円 ・利用率 98.2%

(9) 歳末たすけあい義援金配分事業

① 歳末たすけあい義援金配分事業の実施（対象：低所得世帯、遺児）

種別	世帯割	加算			遺児等 (@8,000円)	合計
	低所得世帯 (@16,000円)	心身障害者 (@1,000円)	要介護者 (@1,000円)	単身高齢者 (@1,000円)		
件数	(A) 140 件	26 件	3 件	72 件	(B) 24 件	(A+B) 164 件
金額	2,240,000 円	26,000 円	3,000 円	72,000 円	192,000 円	2,533,000 円

(10) 経済的支援事業

① 低所得世帯等を対象とした貸付事業

(ア) 低所得世帯生計援助資金貸付事業の実施

貸付件数・貸付額	13 件・498,000 円		
償還額	491,000 円	内、当年度貸付分	409,000 円
		内、過年度貸付分	82,000 円
貸付残高	71 件・2,305,500 円		

② 生活福祉資金貸付事業（埼玉県社協受託事業）の実施

《資料編 18 ページ 表―地域⑥ 参照》

③ 彩の国あんしんセーフティネット事業

(ア) 関係機関との連携強化

- ・令和3年度は支援実績なし
- ・飯能市生活困窮者自立支援調整会議への参加 2 回（いずれも書面）

④ フードバンク事業

食品の受け入れ	220 件（内、ボランティアによる食品受入会での実績 112 件・332.8 kg）
食品の提供	78 件（高齢者 3 件・障害者 5 件・その他 70 件） ※その他 70 件の内、生活保護申請中及び受給決定待ち等 31 件

- ・他に学習支援室に随時お菓子の提供を実施
- ・フードバンク事業実施要綱の設置

④ 相談機能の強化

(ア) ケース支援検討会議の定期開催

開催回数	5 回
内容	困難事例の事例検討を通じ、市民の生活福祉ニーズの把握と分析を実施。併せて、職員が身につけるべきスキル（知識・技術）を獲得し、対応する職員のレベルの統一を図った。

(11) 権利擁護事業

① 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

(ア) 福祉サービス利用援助事業の実施

- ・利用者の状況：新規利用 6 人、解約 3 人

区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
利用者数	9 人	3 人	7 人	19 人

- ・サービス利用状況

サービス種別	見守り	19 人
	日常的金銭管理	19 人
	書類等預かりサービス	1 人
延利用件数	391 件	

- ・相談件数 79 件

(イ) 生活支援員連絡会の開催

- ・2月に開催を予定したが、まん延防止等重点措置の期間中であったため中止

(ウ) 福祉サービス利用援助事業の周知

- ・社協ガイドブック、ホームページの広報媒体を活用

② 法人後見事業

(ア) 法人後見事業の実施

- ・利用者の状況：新規受任 2 人、終了 0 人

受任件数	後見	14 人
	保佐	1 人
	補助	4 人

(イ) 法人後見運営委員会の開催 開催回数：2 回

内 容	(議事)
	・受任の申立に関する審議について
	(報告)
	・後見人候補者となることに同意を受けた案件の進捗状況について

※予定していた4回の内2回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため不実施

(ウ) 後見支援員スキルアップ研修の実施 不実施

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(エ) 法人後見事業の周知

・社協ガイドブック、ホームページへの広報媒体及びパンフレットを活用

③ 市民後見推進事業の実施（飯能市受託事業）

（ア）市民後見人養成講座（入門編）の開催

開催日	内 容 等
1月29日（土）	目 的：市民に対して成年後見制度の基本を学び、市民後見人に対する理解を深めていただく機会を提供することで、将来市民後見人として活動するきっかけとすること。 共 催：飯能市 受講者数：13人 対 象：本市在住、在勤、在学されている方で、成年後見制度の基本を学び、市民後見人に対する理解を深めようとする者。 但し、本講座の全カリキュラムを受講できる者とする。 方 法：オンラインによる開催 ※自宅でネット環境がない方は総合福祉センターに来所 講師及び内容 ：高橋 弘 氏（けやき野司法書士法人経営責任者） 「わかりやすい成年後見制度の基礎入門」 「飯能市市民後見制度入門」 角田 健一 氏（医療法人くすのき会 南飯能病院院長） 「高齢者・障がい者支援のための基礎知識」 清野 剛義 氏（飯能市地域包括支援センターいなり町） 「福祉と介護支援のための基礎知識」 中村 修 氏、北島 学 氏（ともに飯能市市民後見人） 「飯能市市民後見人を勤めてみて」

（イ）市民後見人フォローアップ講座の開催

開催日	内 容 等
3月13日（日）	目 的：本会が行う法人後見事業で活動する「法人後見支援員」及び「市民後見人」として活動を希望する際に、必要な知識等の維持・習得及びスキル向上を図るための「学びの場」を提供すること。 共 催：飯能市 受講者数：27人 対 象：本会で実施した市民後見人養成講座（実践編）の全日程を終了した方 会 場：飯能市総合福祉センター 講師及び内容 ：徳光 風花 氏（飯能市 健康福祉部 介護福祉課 主事） 「成年後見制度の動向について」 高橋 克巳（飯能市社会福祉協議会 主幹兼生活支援係長） 「飯能市社協における法人後見事業の現状」

④ 成年後見支援センター事業の実施（飯能市受託事業）

（ア）成年後見相談会の開催

開 催 日	3月11日（金）
会 場	総合福祉センター
相 談 員	司法書士
相談件数	3件

(イ) 成年後見制度に関する周知及び啓発

・相談件数 11件

⑤ 市民よろず相談の開催

実施日	毎月第3水曜日		会場	総合福祉センター		
相談区分	法律	人権	行政	建築	不動産	合計
開催回数	12回	8回	8回	8回	10回	
相談件数(延)	122件	1件	5件	0件	14件	142件

(12) 基幹型地域包括支援センターの運営(飯能市受託事業)

① 地域型地域包括支援センターの後方支援と総合調整の実施

(ア) 困難事例・虐待事例への対応及び支援

処遇困難事例及び虐待事例を支援する 地域型地域包括支援センターの後方支援	141件
---	------

(イ) 高齢者支援のためのネットワークの形成

飯能市介護支援専門員協議会への実行委員としての参加及び 研修会への協力	11回
飯能市介護支援専門員協議会と地域型地域包括支援センター主 催の権利擁護研修会への協力	1回
成年後見相談会への協力	4回

(ウ) 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の実施 実績なし

(エ) 地域包括支援センター連絡会議の開催回数：6回

(オ) 関係機関との連携強化を目的とした会議への出席

在宅介護支援センター訪問事例受領会参加		31回
職種会議の開催	保健師・看護師連絡会	7回(内1回はオンライン)
	社会福祉士連絡会	12回
	主任介護支援専門員連絡会	11回
地域型地域包括支援センターミーティング参加		49回
地域課題型地域ケア会議参加		1回

② 地域ケア会議の開催

(ア) 自立支援型地域ケア会議の開催

会議名	開催回数
自立支援型地域ケア会議	12回
自立支援型地域ケア会議検討会※1	12回
自立支援型地域ケア会議検討会議※2	2回
助言者による研修会	1回

※1 自立支援型地域ケア会議の後、会議の進め方などの振返りを毎回実施

※2 理学療法士や薬剤師等の助言者を交え下記事項を検討

- ・自立支援型地域ケア会議の進行について
- ・介護支援専門員の資質向上や医療・介護の連携の視点から、会議で抽出された課題や必要な社会資源について

③ 市が実施する認知症施策への協力

(ア) 認知症地域支援推進員連絡会への参加 12回

(イ) 認知症初期集中支援事業への参加

参加会議及び回数	チーム員会議 12回
	検討会議 2回
成 果	認知症専門医及び支援チーム員等との連携による認知症高齢者やその家族新規15人をチームへつなぐ。

(ウ) 認知症サポーター養成講座の開催支援 1回

④ 多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェの運営支援

(ア) 事務局機能の支援

会議名称	参加回数
役員会	5回

(イ) 取組事業の支援

事業名称	参加回数
第7回市民フォーラム（テレビ放映、オンライン配信）	1回
第13回ワールドカフェ	1回
医療と介護の連携ハンドブックの作成	
※MCS 立ち上げ及び運営	

※MCS:medical care station の略。

医療・介護等多職種連携のための情報共有ツールのことをいう。

事業名称	参加回数
ワールドカフェ部会	5回
医療と介護の連携ハンドブック+MCS 部会	4回
市民フォーラム部会	2回

(13) 居宅介護支援事業（指定居宅介護支援事業所けあ・しゃきょう）

① 居宅介護支援事業の実施

(ア) 居宅介護支援事業

・サービスの提供実績 1, 294件

(イ) 介護予防支援事業（受託）

・サービスの提供実績 36件

(ウ) 介護予防ケアマネジメント事業（受託）

・サービスの提供実績 59件

(エ) 質の高いケアマネジメントの提供に向けた取組

・サービス提供体制（特定事業所加算Ⅱ）の継続確保

年間を通して特定事業所加算Ⅱ算定要件を満たしたサービス提供体制を継続確保した。

・職員（介護支援専門員）の資質向上

事業名	概要
ケアマネ定例会	開催回数：11 回 会 場：総合福祉センター 内 容：介護報酬改正について、事例を通して介護支援専門員の対応の仕方について、災害における業務継続計画（BCP）について等
飯能市介護支援専門員協議会主催研修会	受講回数：10 回 受講者数：延 28 人 内 容：見える事例検討、野中式事例検討（2 回）、精神科医療と介護との連携を支える知識と技術について、認知症について、自立支援の視点を取り入れたケアプラン立案に対するポイント、法改正を踏まえたケアプラン作成のポイント等 会 場：総合福祉センターまたはオンライン開催
その他	○多職種連携座談会飯能・日高地区ワールドカフェ（オンライン） 1 人 「多職種でできる災害時の備えについて」 ○飯能市介護サービス事業者協会研修 5 人 「災害時避難者受け入れにおける感染症対策」 「BCP 作成のススメ」 ○狭山保健所・障害者福祉課・介護福祉課主催研修 1 人 「医療的ケアのある難病患者の災害対策について」 ○埼玉県社協主催研修 2 人 「これからの介護保険 令和 3 年度改定の意味と次期改定の動向（動画配信）」 ○介護支援専門員更新研修 2 人 ○主任介護支援専門員更新研修 1 人 ○地域型域包括支援センターから依頼のあった困難ケースを積極的に受け入れた。

・本会内部相談支援部署との連携強化

利用者支援にあたり、本会地域福祉推進係、生活支援係及び地域包括支援系の職員との連携強化を図った。

（オ）事業所経営方針の策定

・事業継続のための指針策定に向けて経営状態などを検討した。

② 地域貢献の取組

（ア）地域及び学校等における福祉活動への協力 実績なし

（イ）飯能市介護支援専門員協議会実行委員会・防災分科会への参加及び研修への協力

会議名	参加者数	回数
飯能市介護支援専門員実行委員会	介護支援専門員 延 12 人	12 回
飯能市介護支援専門員協議会防災分科会	介護支援専門員 延 12 人	12 回
主任ケアマネジャー部会	主任介護支援専門員 延 6 人	6 回

(14) 広報啓発事業

① 情報発信事業

(ア) 社協だよりの発行

発行回数・部数	年3回(5月、7月、12月) 29,000部/回(全戸配布)
内容方法検討	職員による広報・編集会議の開催

(イ) 社協ガイドブック2021(詳細版、概要版)の発行

概要版	仕 様：A3・二つ折り・両面カラー印刷 発行部数：700部 内 容：実施事業の概要を紹介 設置箇所：総合福祉センター、美杉台児童館、保健センター名栗分室、各地区行政センター。その他に、事業参加者等に配布
詳細版	仕 様：A4・21ページ・白黒印刷 発行部数：450部 内 容：実施事業の詳細を紹介 配 布 先：相談利用者、事業参加者等

(ウ) ホームページ、フェイスブックによる情報の発信の実施

(エ) SNSを活用した情報発信

・LINEアカウントの設置及び運用の開始。登録者 286人

② 飯能市社会福祉大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典は開催せず表彰のみ実施

表彰日	内 容 等
2月26日(土)	目 的：地域福祉の発展に功績のあった方を表彰する 内 容：飯能市社会福祉協議会会長表彰 ・社会福祉事業功労者 29人・2団体 ・福祉のまちづくり表彰 2人・1団体 ・多額寄付者 1人 ・埼玉県共同募金会飯能市支会支会長感謝 6人・4団体

3. 指定管理部門

(1) 飯能市総合福祉センター（飯能市受託事業）

① 総合福祉センター管理運営の実施

(ア) 総合福祉センター利用状況

《資料編 19 ページ～20 ページ 表一指定①、② 参照》

・開館日数、利用者数

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開館日数	332 日	286 日	328 日
利用者数（延）	27,833 人	34,147 人	91,103 人

※4月1日（木）から10月20日（水）まで新型コロナウイルスワクチン接種会場となったため2階の利用及び団体利用を休止とした。

なお団体利用は、12月1日（水）から再開した。

(イ) 施設修繕等

- ・駐車場の東側出入口段差解消
- ・屋上高架水槽給水バルブ修繕
- ・非常用照明修繕 等

(ウ) 総合福祉センター利用者対象アンケートの実施

- ・コロナ禍により、一般来館者が特定の少数リピーターに限られていたため、一般来館者を対象としたアンケートは実施せず、事業参加者を対象にしたアンケートのみ実施した。

(エ) 新型コロナウイルス感染拡大防止対応

[施設全般]

- ・1月21日（金）から3月21日（月・祝）までのまん延防止等重点措置の期間は、カラオケ、コーラス、社交ダンスなどの大きな声を出す活動及び直接ふれあう活動について活動自粛を依頼した。
- ・一般来館者を対象とした風呂、カラオケは年間通して利用中止とした。
ただし囲碁将棋は1月4日（火）から再開した。
- ・飯能市と締結した「新型コロナウイルス感染予防対策等に係る費用等の負担に関する覚書」に基づく負担金により、2月1日（火）から空気清浄機を3台増設した。
- ・利用受付簿への入館、退館時間の記入の徹底（団体においても利用名簿提出を徹底）及び個人利用1時間程度、団体利用2時間程度の利用時間制限を実施した。
また、各部屋の利用定員を通常の1/2に設定及び利用後の室内消毒の徹底、併せて館内での食事自粛を呼びかけた。

[児童センター]

- ・利用時間を2部制（午前：9時30分～正午／午後：2時～4時30分）とし、室内の消毒及び換気を徹底した。
- ・貸出遊具を限定し、返却後の消毒を徹底した。

(2) 身体障害者福祉センター事業（飯能市受託事業）

・事業実施状況総括表

《資料編 21 ページ～22 ページ 表一指定③ 参照》

事業区分	実施事業数	開催回数	延参加者数
相談支援の充実	1 事業	4 回	4 人
機能回復のための各種訓練等	5 事業	1,167 回	2,303 人
障害者スポーツ・レクリエーション活動及び創作的活動の普及	6 事業	48 回	15 団体・259 人
ボランティアの養成及びボランティア活動の支援	4 事業	70 回	434 人
啓発の充実	1 事業	1 回	5 人
障害に配慮したきめ細やかな対応	2 事業	91 回	91 人
合 計	19 事業	1,381 回	15 団体・3,096 人

(3) 老人福祉センター事業（飯能市受託事業）

・事業実施状況総括表

《資料編 23 ページ 表一指定④ 参照》

事業区分	実施事業数	開催回数	延参加者数
生活、健康等の相談及び見守り	1 事業	2 回	22 人
教養の向上	6 事業	23 回	290 人
生きがいづくり活動の推進	1 事業	7 回	110 人
地域高齢者リーダーの養成	0 事業	0 回	0 人
合 計	8 事業	32 回	422 人

(4) 児童センター事業（飯能市受託事業）

・事業実施状況総括表

《資料編 24 ページ～25 ページ 表一指定⑤ 参照》

事業区分	実施事業数	開催回数	延参加者数
遊びの提供	9 事業	350 回	2,272 人
健康の増進	3 事業	11 回	56 人
豊かな情操の育み	5 事業	105 回	615 人
子育て家庭の支援	7 事業	59 回	548 人
地域との連携、市民との協働	6 事業	23 回	144 人
児童の居場所提供	2 事業	69 回	242 人
合 計	32 事業	617 回	3,877 人

(5) 飯能市美杉台児童館（飯能市受託事業）

① 美杉台児童館管理運営の実施

(ア) 美杉台児童館利用状況

《資料編 26 ページ～28 ページ 表一指定⑥、⑦ 参照》

・開館日数、利用者数

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開館日数	291 日	249 日	286 日
利用者数（延）	20,512 人	15,989 人	28,134 人

・事業実施状況総括表

事業区分	実施事業数	開催回数	延参加者数
遊びの提供	5 事業	142 回	2,116 人
健康の増進	1 事業	13 回	84 人
豊かな情操の育み	2 事業	3 回	24 人
子育て家庭の支援	4 事業	33 回	166 人
地域との連携、市民との協働	3 事業	11 回	162 人
児童の居場所提供	5 事業	44 回	303 人
合 計	20 事業	246 回	2,855 人

(イ) 利用者アンケートの実施

- ・コロナ禍により、来館者が特定の少数リピーターに限られていたため、来館者を対象としたアンケートは実施せず、感染予防を図るため少人数を対象とした事業実施ではあったが、事業参加者を対象にしたアンケートのみ実施した。

(ウ) 新型コロナウイルス感染拡大防止対応

- ・飯能市と締結した「新型コロナウイルス感染予防対策等に係る費用等の負担に関する覚書」に基づく負担金により、2月1日（火）から空気清浄機を3台増設した。
- ・利用受付簿への入館、退館時間の記入の徹底及び1時間程度の利用時間制限を実施した。
また、各部屋の利用定員を通常の1/2に設定し、併せて館内での食事自粛を呼びかけた。
- ・利用時間を2部制（午前：9時30分～正午／午後：2時～4時30分）とし、室内の消毒及び換気を徹底した。
- ・貸出遊具を限定し、返却後の消毒を徹底した。

(6) 共催事業

・事業実施状況総括表

《資料編 29ページ 表一指定⑧ 参照》

事業区分	実施事業数	開催回数	延参加者数
総合福祉センター内共催事業	1 事業	13 回	99 人
児童センターと美杉台児童館の共催事業	1 事業	7 回	31 人
他機関との共催事業	3 事業	15 回	107 人
合 計	5 事業	35 回	237 人

(7) その他の取組

① 施設の管理、運営及び日常の危機管理

(ア) 施設利用者参加による消防訓練の実施

- ・総合福祉センター 2回
(うち、保健センターとの合同実施 1回)
- ・美杉台児童館、美杉台地区行政センター、美杉台保育所との合同実施 2回